祝 開校50周年　50ème anniversaire, depuis1973

日仏文化学院

パリ日本人学校

「あ・な・た」を大切にする 心のふるさとパリ日

校　訓

明るく
仲よく
たくましく

令和5年度 学校だより
第5号 7月26日発行

1学期終了 ～充実した夏休みを～

～1学期終業式 校長の言葉から（抜粋）～

今年の七夕も生徒会本部の企画でホールに飾り付けをしました。一人一人が星に願いをこめて書いた短冊。願い事が叶うといいですね。

1学期の授業日は71日（新入生は70日）。4月は先生方やお友達が入れ替わり、戸惑いながらのスタートでした。そんな中、先生方と子どもたちとの関係が日を追うごとに確かなものとなっていきました。入学式で小学部1年生に「明るく・仲よく・たくましく」を、中学部1年生に「挑戦」という言葉を贈りました。これは全校の皆さんに伝えたい言葉でした。この1学期、どこまで達成できたでしょうか。

大きな行事としては「開校 50 周年記念運動会」がありました。バスのハプニングにも関わらず、パリ日が一つになれたことを実感しました。他にも中学部の宿泊学習や小学部の体験学習、学年ごとの見学会や講演会など様々な体験をしました。「文化大国フランスにあることを活かした学校」を目指す本校では、日々の学習活動はもちろんのこと、一つ一つが将来グローバル人材として羽ばたく皆さんの基礎になると考えています。

本日配付の通知表からは「できていること」「もっと伸ばしたいところ」が分かります。あまり時間が経たないうちに、家族で通知表を囲み1学期を振り返りましょう。そして、具体的に今後どうするかを考えてみましょう。

さて、夏休みに心がけてほしい三つの言葉があります。一つ目は「早寝・早起き・朝ごはん（はやね・はやおき・あさごはん）」、二つ目は、「継続は力なり（けいぞくはちからなり）」、三つ目は「家族のためにお手伝い（かぞくのためにおてつだい）」です。自分の成長のために、ぜひ実行してみてください。

最後に、この1学期でパリ日を去る皆さんがいます。在籍が長い人、短い人とそれぞれですが、パリ日で生まれた絆はこれからもずっと続きます。開校50周年記念式典を、ぜひ、パリ日を離れた場所で一緒にお祝いしてください。皆さんのご活躍を心からお祈りしています。

では皆さん、この夏休みを十分に活かして大きく成長してください。そして、それぞれの2学期のスタートが元気に迎えられることを心から願っています。

ツールドフランス最終日 「パリ日」横を疾走！ 7月23日（日）

フランスで国民的な人気スポーツである自転車のロードレース大会ツールドフランスは、23日（日）が最終日でした。選手はパリ日の隣にあるベロドロームからスタートして、パリのシャンゼリゼ大通りを目指しました。スタート直後にパリ日の横を大集団が走り抜けました。

写真はパリ日の校舎をバックに選手が走っているものです。本校職員が応援に駆け付けた際に撮影しました。情報によると 2024 年のツールドフランスは7月26日に開会式を迎えるパリオリンピックに近いため、パリではなくニースをゴールにするとのことです。その意味でも貴重な写真かもしれません。オリンピック・パラリンピックを1年後に控えたフランス。ますます熱が入りそうですね。

１学期終業式　代表の言葉 7月26日（水）

１がっきがんばったこと　　１ねん１くみ　Ｉ Ａ

１がっきがんばったことは、たいいくのじゅぎょうです。なかでもがんばったことは、マットうんどうです。おくやませんせいに、「こうすればうまくまわれるよ。」とぜんてんのこつをおしえてもらい、いままでよりもじょうずになりました。じょうずにできるようになってうれしかったです。

また、うんどうかいれんしゅうもがんばりました。としょしつでかりた「はやくはしれるほん」をよんで、こうていでためしました。それがほんばんにいかせました。ほんばんはきんちょうしましたが、がんばってさいごまでやりきりました。 2がっきは、どのじゅぎょうもがんばりたいです。

ふり返りとめあて　　4年１組　Ｓ Ｍ

「おはようございます。」みなさんは、この言葉をしっかり言えてますか？今日はもう終業式。明日からワクワクドキドキ夏休みです。7月は、暑い日がつづくとイライラすることもありました。そんな私の、１学期でがんばったこと、夏休みのめあてを発表するまで…3…2…１…Go！

まず始めに、一学期に一番がんばったことは、運動会のソーラン節です。私ははじめあまりソーラン節にきょうみがなかったけれど、「運動会は、がんばって練習したことを、家の人にみせる大会なんだ」ということに気づいてから、ぐんとやる気が出て、家にいる時も時間ができればおどり、本気でだれよりも練習しました。その結果、キレキレでおどることができ、たくさんの人にほめられて、とても良い思い出になりました。

次に、夏休みのめあてです。夏休みのめあては「毎日元気にすごす」です。夏は暑いので、体をこわす人が多くなってしまいます。ですから、私は水分をよくとったり、体をうごかしたりして、暑さにまけないようにがんばろうと思います。

みなさん、私の夏休みのめあてと、１学期のふり返りを知ることができましたか？私はこの文しょうを書いて、めあてのふり返りの大切さも学びました。なぜなら、それで次にいかせるものがみつかるかもしれないからです。したがって、みなさんもめあてを立ててふり返りをしてみるといいと私は思います。そして、2学期になったら「おはようございます。」といって、みんなと元気に学校で会えることを楽しみにしています。

１学期の反省とこれからの目標　　2年Ａ組　Ｈ Ｙ

私の１学期をふり返ろうと思います。

５月。宿泊学習がありました。私はレクリエーション係として、１年生と一緒に準備をしたり企画を進めたりする中で、先輩になったことを自覚しました。しかし、自分が最上級生となる話し合いの時は、慣れないことなので上手く意見をまとめることが出来ませんでした。

６月、運動会。１年生の頃よりも行事に積極的に参加するようになりました。それは、昨年より行事の楽しさや、全員が協力することの大切さを知ったからだと思います。ですが、係の仕事の時に、宿泊学習のときと同じく、うまく意見をまとめることができませんでした。

この2つの行事を通して、私は「まとめる力」が足りないということに気が付きました。「意見をまとめる時、一番大事なことは「要点」をまとめることだ」と、ある先生に言われたので、2学期は要点をきちんとまとめて話せるようになりたいです。１年生の時は気が付けなかった「まとめる力」の大切さを改めて実感した１学期。2学期は、要点を的確にまとめて人に伝えられるような自分に近づきたいです。

ところで、ここまでの私の話、「要点」はまとまっていたでしょうか？皆さんに私が言いたいことが伝わって…いないのであれば、2学期の私の成長に期待してください！

小学部4年生　浄水場見学　7月7日（金）

社会見学として小学部4年生がベルサイユ近くにある浄水場を見学しました。最初に水の循環について学んだ後、汚れた水が実際どのようにきれいにされているのかについて実験を通じて体験しました。汚れてにごりのある水が透明になっていく様子には皆驚いていました。

帰りには浄水場特製のボールペンをお土産にいただきました。毎日何げなく使っている水ですが、じっくりと考える良い機会となりました。

夏季体験入学実施　7月10日（月）～21日（金）

～16名の皆さん　ようこそパリ日へ！～

今年も夏季体験入学が実施されました。普段は現地校やインター校に通っている皆さんが、フランスの学校の休暇にあたる時期に本校に来校しています。普段はフランス語や英語で授業を受けている皆さんが、基本的に日本語だけで行われる授業を体験しています。

本校としても、様々な文化背景を持つ児童生徒と触れ合うことで国際感覚の向上に役立つと考えています。初日には教室や廊下で、まだ慣れないお友達に優しくアドバイスする様子が見られました。次は2月下旬、冬季の体験入学となります。またのご来校をお待ちしています。

小学部1・2年生　夏のサンカンタン池公園へ　7月12日（水）

～春との違いに気づいたかな？～

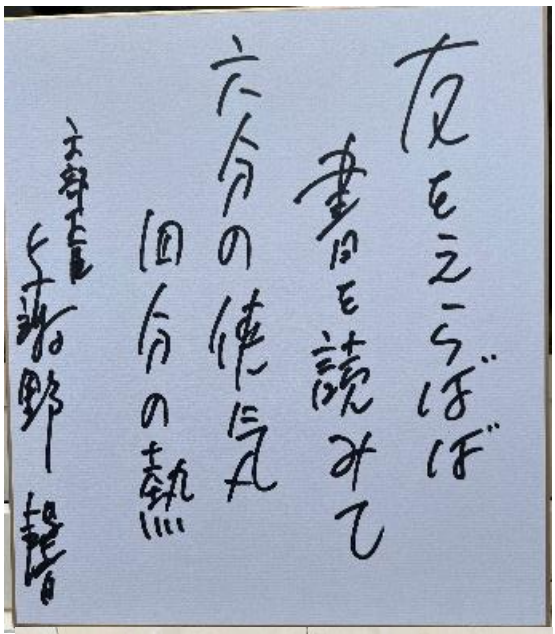
小学部1、2年生が今年度２度目のサンカンタン池公園を訪れました。前回は春のサンカンタン池ということで、少し肌寒い日でした。今回も日が陰っている間は少しひんやりとしましたが、目に映る景色や動植物には変化が見られました。子供たちの中からも、春と夏の違いに気づく言葉が数多く聞かれました。振り返りの時間を使ってまとめられるといいですね。次回は秋のサンカンタン池になります。夏との違いをたくさん見つけてください。

中学部保護者面談7月10日（月）～　小学部授業参観・懇談会7月13日（木）

暑さが厳しくお忙しい中、面談にご来校いただきましてありがとうございます。バスモニター等で来校する機会はあっても、なかなか担任とじっくり話す機会がなく、中学部担任としてもたいへん有意義な時間を過ごせたようです。短い面談時間ですが、オンラインでの面談とは違った良さがあることをご理解いただき、今後ともご協力いただければと思います。13日は小学部の授業参観・懇談会が行われました。暑い中多くの保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。担任による授業を参観いただき、その後懇談会を実施しました。どの教室からも和やかな様子が伝わってきました。今後とも学校・学級へのご要望などお気軽にご相談いただければと存じます。

“特集” 祝開校50周年 ～温故知新・パリ日の「宝」～（第2部）

【第3回】元文部大臣 与謝野 馨（よさの かおる）さんからのメッセージ



50周年記念事業のために校長室のロッカーを整理していたところ、右のような色紙を発見しました。平成6年9月20日（1994 年）、当時の文部大臣だった与謝野馨さんがサンカンタン校舎のパリ日を訪れた際に、パリ日へのメッセージとして色紙に書いたものです。

「友をえらばば 書を読みて 六分の狂気 四分の熱」（ともをえらばば しょをよみて りくぶのきょうき しぶのねつ）と書かれています。この言葉は、「友だちを選ぶなら、よく本を読む人で、六割の侠気（きょうき）＝弱いものを助けようとする心と、四割の情熱を持った人が良い」という意味です。

この言葉、実は今から100年ほど前の明治時代に、与謝野鉄幹（よさの てっかん）という歌人が詠んだ「人を恋うる歌」という歌の一節です。16番まである歌の1番ですが、「妻をめとらば 才たけて みめうるわしく 情けある（り）」（奥さんをもらうなら かしこくて 美人で 情けに厚い人がいい）に続く後半部分で旧制三高（現・京都大学）の寮歌にもなりました。

当時は「いじめ」という言葉はなかったかと思いますが、色紙に書かれている「友だちを選ぶ際に弱いものを助けようとする心」があるという条件は、「いじめ」の問題が叫ばれている現代にも十分通用する考え方かと思います。

さて、「与謝野」と聞いて何か思い当たる人もいるのではないでしょうか。そう、中庭にある歌碑です。石に刻まれた短歌は与謝野晶子（よさの あきこ）の作品で、本人が書いた文字が彫られています。晶子は鉄幹の奥さんで、色紙を書いた馨さんは、与謝野鉄幹・晶子のお孫さんでした。パリ日に色紙を贈るにあたり、自分のおじいちゃんの歌の一節を書いたのです。

すでに三人ともこの世にはいませんが、馨さんがパリ日のためにおじいちゃんの歌を書いた色紙が、おばあちゃんの詠んだ歌の歌碑のすぐ裏の校長室にあります。この与謝野家に関わる偶然の不思議、これもまたパリ日の「宝」かもしれません。

パリ市内や周辺の暴動等に引き続きご注意ください

先月からナンテール市での警察官による少年射殺事件等に関連した複数のデモや暴動が起きました。現在は平静ですが、ここサンカンタン地区でも、ガラス破損や放火などが起きました。今後とも思わぬ被害に巻き込まれないよう、「報道等から最新の情報を入手する」とともに、「デモや人だかりを見かけた場合には、付近に近づかない」ようにしてください。なお、夏季休業中に事件等に巻き込まれた場合、学校にも情報をお寄せください。では、良い夏休みをお過ごしください。

（電話）01 80 82 73 29教頭席 （メール）info@parinichi.com